

# リリース ノート

Microsoft® Windows® Server 2003、HP Integrity Superdomeサーバ



製品番号 : 5990-8261

2005年4月

© Copyright 2005  
Hewlett-Packard Development Company, L.P.

---

## ご注意

© 2005 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

本書で取り扱っているコンピュータ ソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、HPから使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211および12.212に従って、商業用コンピュータ ソフトウェア、コンピュータ ソフトウェア ドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダ標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

MicrosoftおよびWindowsは、Microsoft Corporationの米国における登録商標です。Intel、インテルおよびItaniumはインテル コーポレーションまたはその子会社のアメリカ合衆国およびその他の国における商標または登録商標です。Linuxは、Linus Torvalds氏の米国における登録商標です。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で 사용되는場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

# リリース ノート

Itaniumベース システム対応のMicrosoft® Windows® Server 2003, Datacenter Edition SP1で動作する**HP Integrity Superdomeサーバ**は、インテル® Itanium® 2プロセッサまたはHP mx2デュアル プロセッサ モジュールおよびHP Super-Scalableプロセッサ チップセットsx1000を使用し、比類のない性能と柔軟性を実現しています。Windows Server 2003、64ビット、SP1で動作するHP Integrity Superdomeサーバは、以下のコンポーネントで構成されています。

- 1台のキャビネットに2～64基のItanium 2プロセッサ (HP mx2デュアルプロセッサ モジュール使用時)、または2台のキャビネットに2～64基のItanium 2プロセッサ
- 1TBのメモリ容量
- キャビネット当たり最大8個のハードウェア パーティション (nPartition)
- 96個のホットプラグ対応PCI-Xスロット (I/O拡張キャビネットで最大192個のスロット)

---

## Smart Setup 3.30での新機能

このリリースは、Microsoft Windows Server 2003、64ビット用の**Service Pack 1 (SP1)** をサポートしています。また、このリリースには、以下のコンポーネントに関する重要な更新が含まれています。

### システム マネジメント ホームページ (SMH) バージョン2.0.0.104

[Complex Event Viewer]ページの表示を修正するバグ フィックスが含まれています。

### Pay Per Use (PPU) バージョン7.1

SP1との互換性を提供するための更新に加えて、PPUのパッケージングとインストールに関する変更が含まれています。これまで、PPUは、WMI nPartition Provider コンポーネントに付属しており、nPartition Providerのサブコンポーネントとしてのみ使用可能でした。このリリースでは、PPUは、独立したコンポーネントとなっており、独自のインストール プロセスが用意されています。正常にインストールされると、PPUは、現在インストールされているプログラムとして**[プログラムの追加と削除]**に個別に表示されます。このバージョンのPPUは、SP1と互換性があります。

### U320 SCSI ドライバ バージョン1.10.5.1

U320 SCSIホスト バス アダプタのドライバを更新します。

---

#### 注

Smart Setup CDにはSP1は収録されていません。HPでは、以前よりMicrosoft Windows Server 2003, Datacenter Editionで動作するHP Integrityサーバをご使用のお客様にはDatacenterアップデート用DVDを別途提供しています。また、SP1は、Microsoft社のダウンロードのWebサイトから入手することができ、SP1が適用されたWindows Server 2003 OSのリテール版メディアにも収録されています。

---

---

## ソフトウェア要件

HP製品に含まれるソフトウェアに加えて、以下のソフトウェアが必要です。

### Java

- Partition Managerには、Sun Microsystems社のダウンロードのWebサイト<http://java.sun.com>から入手できるJDK（32ビット）1.4.1または1.4.2が必要です。
- Integrityマネジメント エージェントには、Sun Microsystems社のダウンロードのWebサイト<http://java.com>から入手できるJRE 1.4.1または1.4.2が必要です。

### Webブラウザ

RMU（Smart Setup CDのブラウザベースのインタフェース）には、Internet Explorerバージョン5.0以上が必要です。最新バージョンのInternet Explorerは、Microsoft社のダウンロードのWebサイト<http://www.microsoft.com/windows/ie/default.msp>から入手できます。

### TCP/IPおよびSNMP

HP Insightマネジメント エージェントを使用するには、TCP/IPとSNMPがインストールされ、設定されている必要があります。また、SNMPのインストールは、手動で実行する必要があります。

### Utility Meter

Pay Per Use（PPU）7.1ソフトウェアには、Utility Meterソフトウェア、バージョン7.3以上が必要です。

## サポートされるコンポーネント

Microsoft® Windows® Server 2003、HP Integrity Superdomeサーバは、以下のコンポーネントをサポートしています。

<b>オペレーティングシステム</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>Itaniumベース システム対応のWindows Server 2003, Datacenter Edition SP1</li></ul>
<b>LANアダプタ</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>HP PCI 1000Base-T Gigabit Ethernetアダプタfor Windows V.7.86 (A7061A)</li><li>HP PCI 1000Base-SX Gigabit EthernetアダプタV. 7.86 (A7073A)</li><li>HP PCI-Xデュアル ポートGigabit Ethernet SXアダプタ カード V.7.2.17.8 (A9899A)</li><li>HP PCI-Xデュアル ポートGigabit Ethernet TXアダプタ カード V.7.2.17.8 (A9900A)</li></ul>
<b>SCSIアダプタ</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>HP PCIシングル チャネルUltra160 SCSIアダプタfor Windows (A7059A)</li><li>HP PCIデュアル チャネルUltra160 SCSIアダプタfor Windows (A7060A)</li><li>HP PCI-Xデュアル チャネルUltra320 SCSIホスト バス アダプタ (A7173A)</li></ul>
<b>ファイバチャネルアダプタ</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>HP StorageWorks 2GbファイバチャネルHBA (AB232A)</li><li>HP StorageWorks 2Gb、64ビット/133MHz PCI-X-ファイバデュアルチャネルHBA (AB466A)</li><li>HP StorageWorks 2Gb、64ビット/133MHz PCI-X-ファイバシングルチャネルHBA (AB467A)</li></ul>
<b>RAIDコントローラ</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>HP PCI-X 2チャネルSmartアレイ 6402、Ultra 320 SCSI (A9890A)</li></ul>
<b>VGAグラフィックス</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>HP製グラフィックスおよびUSBカード (A6869A。ルート セルに接続されたI/Oシャーシでのみサポート)</li></ul>
<b>キーボード</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>HP製キーボードのみサポート</li></ul>

## 共通問題のトラブルシューティング

HP IntegrityサーバにWindows Server 2003をインストールし、使用する前に、この項全体をお読みください。この項には、貴重な時間と作業を軽減できる対策が記載されています。

### アレイ コンフィギュレーション ユーティリティ (ACU)

すべての  
Integrityサーバ

**Windows Driver Verifier (verifier.exe) がバックグラウンドで動作しているとACUを使用できない**

**問題** Windows Driver Verifierが有効にされ、バックグラウンドで動作していると、ACUは間違った結果をレポートします。

**対策** 現在、対策はありません。ACUを使用するには、[Windowsタスク マネージャ]を使用して「verifier.exe」プロセスを終了し、ACUを起動します。「verifier.exe」プロセスとACUを同時に実行しないでください。

### ファイバ チャネル

すべての  
Integrityサーバ

**LPutil64の[DELETE]ボタンが、選択されたEFIドライバまたはファームウェアを削除しない**

**問題** LPutil64の[DELETE]ボタンは、A7298A、AB232A、AB466A、またはAB467Aアダプタでは動作しません。

**対策** 代わりにLPutil64の[Enable/Disable]ボタンを使用して、希望するEFIドライバを無効にします。また、今後リリースされる新しいバージョンのEFIドライバで問題を改善します。

すべての  
Integrityサーバ

**HBAnywareバージョン2.0a13は、アップグレードする前に手動でアンインストールしなければならない**

**問題** IHBAnywareバージョン2.0a13は、新しいバージョンのHBAnywareにアップグレードする前にアンインストールしないと、SCSIportまたはSTORportドライバ、ファイバチャネルユーティリティ、もしくはSupport Packの動作時にシステムがハングすることがあります。

**対策** HBAnywareバージョン2.0a13を使用している場合は、アップグレードする前に、必ず、まずこのHBAnywareバージョン2.0a13をアンインストールしてください([コントロール パネル]の[プログラムの追加と削除]を使用します)。

すべての  
Integrityサーバ

**Support Packが、新しいバージョンのFibre Channel SCSIportドライバが入手可能であることを報告する**

**問題** HPの再インストール用メディアを使用してシステムを再インストールすると、Support Packのリモート展開ユーティリティは、インストールされている「Fibre Channel Adapter kit for Emulex SCSIport driver」Smartコンポーネントのバージョンが2.1.4.4であると報告します。また、Support PackにSmartコンポーネントのバージョン2.1.4.5が含まれていることも示します。実際には、Smartコンポーネントのバージョン2.1.4.4と2.1.4.5の両方に同じSCSIportドライバが含まれています。

**対策** 対策は不要です。Smartコンポーネントのバージョン2.1.4.5には、以前にインストールされ現在互換性がなくなっている可能性のあるユーティリティを削除するための、アンインストール スクリプトが含まれています。

## インストール

### すべての Integrityサーバ

#### システムの起動中に画面が空白になる

**問題** システムの起動中に、画面が3～8分間空白になる場合があります（実際の時間の長さは、搭載されたシステム メモリの量によって変化します）。

**対策** この事象は異常を示すものではありません。システムの活動は、システムの電源を入れてから数秒以内に、リモート端末から監視できます。

### すべての Integrityサーバ

#### 再インストール用メディアからOSをインストールする場合は16GBオプションを使用しない

**問題** 再インストール用メディアからOSをインストールしているときに、16GBオプションを使用する場合は、後でページファイル サイズを手動で設定しないと、（システム障害時に）カーネル メモリ ダンプを作成できません。さらに、手動設定する場合は、ページファイル サイズを20GB未満にすることをおすすめします。

**対策** 33GB以上のディスク ドライブでは、システム パーティションを作成する必要があります。再インストール用メディアを使用する場合は、システム ボリュームを設定するときに、33GBまたは最大ドライブ サイズ オプションを選択してください。

### すべての Integrityサーバ

#### ヘッドレス サーバでは、F8キーの代わりにEsc8キーを使用する

**問題** Windows NT4とWindows 2000のTelnetおよびHyperTerminalアプリケーションは、ファンクション キーのASCII文字列を正しくマップしません。たとえば、電源投入時セルフテスト（POST）実行中、Smartアレイ ファームウェアは、**Esc**キーを押すと続行し、**F8**キーを押すとコンフィギュレーション ユーティリティに移ることを示すバナーと設定メニューを表示しますが、ヘッドレス構成のシステムを使用している場合、**F8**キーを押しても、設定メニューが表示されません。

**対策** リモート端末からこれらのアプリケーションを使用して正しいASCII文字列を送信するには、**Esc**キーを押し、すぐに（1秒以内に）希望するファンクション キーの数値を押します。たとえば、**F8**キーのASCII文字列を送信するには、**Esc**キーを押し、すぐに**8**キーを押します（端末エミュレータがUTF-8に設定されている場合は、代わりに**F8**キーを押すことができます）。  
より簡単な処置は、TelnetやHyperTerminalの代わりにPuTTYを使用する方法です。PuTTYは、Smart Setupメディアに収録されている端末エミュレータです。PuTTYは、Webから入手することもできます。

---

**注** ターミナル エミュレータ「PuTTY.exe」は、標準では日本語をサポートしていません。

### Superdome

#### システム マネジメント ホームページ（SMH）で、管理プロセッサ（MP）へのリンク先が動作しない

**問題** システム マネジメント ホームページには、「マネジメント プロセッサ」という見出しの下にある左側のウィンドウにMPへのリンク先がありますが、HP Integrity Superdomeサーバの場合は動作しません。これは、SMH Webベース インタフェースがハードウェアによってサポートされていないためです。このリンク先をクリックすると、新しいブラウザ ウィンドウが開き、「ページが見つかりません」というメッセージが表示されます。

他のすべてのHP Integrityサーバでは正常に動作します。

**対策** 現在、対策はありません。



## マネジメント エージェント

### すべての Integrityサーバ

新しいInsightマネジメント エージェントSmartコンポーネントが以前のバージョンを検出しない

**問題** Integrityサーバ用Insightマネジメント エージェント バージョン3.0は、以前のバージョンのエージェント（バージョン2.4、2.3など）の上書きを表示しません。新しいSmartコンポーネントは、古いコンポーネントを検出しません。

**対策** 機能には影響がないため、対策は不要です。このまま使用できます。

### すべての Integrityサーバ

アップグレード時に古いバージョンと新しいバージョンでマネジメント エージェント用のSmartコンポーネントが同じものの場合、「インストールの失敗」というメッセージが表示される

**問題** Smart Setup 3.30とSmart Setup 3.20のInsightマネジメント エージェントSmartコンポーネントは、同じものです。バージョン3.20がすでにインストールされているシステムにバージョン3.30をインストールしようすると、Smartコンポーネントによって、一般的な「インストールの失敗」というメッセージが表示されます。このメッセージは、新しいバージョンが古いバージョンと同じであるためにインストールが不要であることを示すためのものです。

**対策** 機能には影響がないため、対策は不要です。

## ネットワーク インタフェース カード (NIC)

### すべての Integrityサーバ

システムの電源投入時に、Fiber Gigabit Ethernetの切断に関する警告メッセージが表示される（イベントID 4またはイベントID 27）

**問題** システムの電源投入時に、切断を示す（b57ndまたはe1000から発行された）警告メッセージが表示される場合があります。A7073AカードではイベントID 4、A9899AカードではイベントID 27が指定されます。

**対策** これはエラーではありません。A7073AおよびA9899Aカードで使用する自動ネゴシエーションプロセスの副次的効果です。カードは、このプロセスの最後に接続します。これは、イベント ビューアに進み、警告メッセージを確認し、これに続いて接続の成功を示す情報メッセージ（A7073Aカードは情報イベントID 11、A9899Aカードは情報イベントID 32）を参照することで確認できます。

## Partition Manager

### Superdome、 rx8620、rx7620

システムのシャットダウン時にMicrosoft Visual C++ランタイム ライブラリのエラー メッセージダイアログが表示される

**問題** Partition Managerを実行しているシステムをシャットダウンする際、ローカル コンソールに、Visual C++ランタイム エラーを示すダイアログが表示される場合があります。

**対策** これは、システム マネジメント ホームページのプログラム エラーですが、動作に影響はなく、対策は不要です。

## Pay Per Use (PPU)

Superdome、  
rx8620、rx7620

『Pay Per Use User Guide』にトラブルシューティングの手順が記載されていない

- 問題** 『Pay Per Use User Guide』にはトラブルシューティングに関する項はありますが、Windows サーバでの PPU に関連した問題を解決するための手順が記載されていません。
- 対策** PPU問題のトラブルシューティングを行う際は、イベント ビューアを使用してPay Per Useソフトウェアに関連したエラー メッセージの有無を確認する必要があります。イベント ビューアを開くには、Windowsデスクトップから、**[すべてのプログラム]**、**[管理ツール]**、**[イベント ビューア]**の順に選択します。イベント ビューアで、**[アプリケーション]**を選択し、**[ソース]**欄でPPUエラーの有無を確認します。

## SCSI

すべての  
Integrityサーバ

内蔵U320 SCSIコントローラを外部ディスク ドライブ コントローラとして使用している場合にWindows イベント ログにイベントID 117が生成される

- 問題** 内蔵U320 SCSIコントローラを外部ディスク ドライブ コントローラとして使用しているHP Integrityサーバで、Microsoft Windows Server 2003が動作している場合、リブート後に断続的なイベントID 117エントリがWindowsイベント ログに生成される場合があります。
- 対策** これらのイベントは無視してください。これらは、システムの問題やデータ消失の発生しないタイムアウト状態を示しています。

## Service Pack 1 (SP1)

すべての  
Integrityサーバ

SP1のインストール後にWindowsファイアウォールによってネットワーク アクセスがブロックされる

- 問題** SP1で導入されたセキュリティ拡張機能の一部として、SP1のインストールが完了すると、Windowsファイアウォールがデフォルトで有効になります。このファイアウォールは、デフォルトで、すべてのTCPおよびUDP通信をブロックします。このため、SNMPやリモート デスクトップ プロトコルなどのいくつかのサービスは、接続を確立できなくなります。
- 対策** SP1をインストールしたら、システムのあるサイトのセキュリティ ポリシーに合わせて、Security Configuration Wizardを使用するか、Windowsファイアウォールを設定する必要があります。接続を復元するために一部のサービスを例外として指定しなければならない場合もあります。詳しくは、Windowsファイアウォールに関するMicrosoft社の資料またはオンライン ヘルプを参照してください。

## Smartアレイ

すべての  
Integrityサーバ

Smartアレイ 640x/530xがシステム イベント ログにエラーを生成する (イベントID 9)

- 問題** I/O負荷が非常に大きい場合、Smartアレイ ドライバ (cpqccissm) がシステム イベント ログにイベントID 9エラーを生成することがあります。
- 対策** 問題やデータ消失は発生しないため、これらのイベントを無視してください。現在、解決策はありません。

すべての Integrityサーバ	<b>内蔵ディスク ドライブ コントローラとしてのSmartアレイ6402がシステム イベント ログにエラーを生成する (イベントID 9とイベントID 117)</b>
	<b>問題</b> Smartアレイ 6402が内蔵ディスク ドライブコントローラとして動作している場合、リブート後に断続的なイベントID 9およびイベントID 117エントリがWindowsイベント ログに生成される場合があります。
	<b>対策</b> 問題やデータ消失は発生しないため、これらのイベントを無視してください。現在、解決策はありません。
すべての Integrityサーバ	<b>1台のパワー サプライを搭載した、分割バス構成のStorageWorks 43xxエンクロージャで、エラーが発生する場合がある</b>
	<b>問題</b> Ultra3デュアル バスI/Oモジュールと1台のパワー サプライを搭載した、デュアルバス構成のStorageWorks 43xxエンクロージャは、Smartアレイ コントローラに接続したときにエラーを通知し、論理ボリュームを壊す場合があります。実際にドライブが交換されていない場合でも、StorageWorks 44xxエンクロージャのポートAによって、下側ベイ (ポートA、ベイ1~7) に挿入されたすべてのドライブがホットプラグ リブレースされたと断続的に通知される場合があります。その結果、アレイコントローラが論理ボリュームを壊し、データにアクセスできなくなる場合があります。  また、起動させるオペレーティング システムがこのドライブにインストールされている場合は、サーバがハングしたり、ブルー スクリーンが表示されることがあります。サーバをリブートするとドライブが正常に動作しているように見えますが、一部のデータにアクセスできない場合があります。電源投入時セルフテスト (POST) のエラー メッセージは表示されません。エンクロージャ内のパワー サプライやファンの位置にかかわらず、問題が発生します。この問題は、Ultra3デュアル バスI/Oモジュールでデュアル バス構成されたStorageWorksエンクロージャ モデル4314R、モデル4314T、モデル4354Rが1台のパワー サプライしか搭載しておらず、Smartアレイ 6402コントローラと接続された場合に発生します。  <b>対策</b> 少なくとも2台のパワー サプライを搭載したStorageWorksエンクロージャを使用してください。
すべての Integrityサーバ	<b>"Smart Array Option ROM Configuration for Arrays Utility"にアクセスできない</b>
	<b>問題</b> システム ブート中にUSBキーボードの <b>F8</b> キーを押しても、ルート セルI/Oシャーン (コアI/Oシャーン) にあるSmartアレイ コントローラの[Smart Array Option ROM Configuration for Arrays Utility]メニューにアクセスできません。 <b>注:</b> この問題は、HP製グラフィックスおよびUSBカードに接続されたUSBキーボードを使用して、Smartアレイを構成している場合にのみ発生します。MPのシリアルコンソールは、正常に動作します。
	<b>対策</b> 以下の手順に従ってください。  1. EFI Boot Managerで、EFIシェルを選択します。  2. EFIプロンプトで、search <core cell>と入力します。たとえば、コアセルが0の場合は、search 0と入力します。  3. [Smart-Array Option ROM Configuration for Arrays Utility]メニューが表示されたら、USBキーボードの <b>F8</b> キーを押します。  4. 以上で、[Smart-Array Option ROM Configuration for Arrays Utility]メニューが表示されます。

Superdome、  
rx8620、rx7620

システム ブート中にSmartアレイ 640x/530xが自動的にロードされない場合がある

- 問題** システム ブート中に、Smartアレイ 640xまたは530xカードがRAID構成用にロードされない場合があります。
- 対策** システムは内蔵デバイスのみをスキャンします。そのため、Smartアレイ オプションROMを手動でロードする必要があります。EFIシェルでsearch allコマンドを実行すると、Smartアレイ オプションROMをロードできます。ユーザは、search x yコマンド（たとえば、search 0 8）を使用する必要があります。ただし、xはセル番号、yはPCIスロット番号です。

システム マネジメント ホームページ (SMH)

すべての  
Integrityサーバ

システム マネジメント ホームページが開かない

- 問題** プロキシ サーバを通してアクセスするようにInternet Explorerが設定されており、[ローカル アドレスにはプロキシ サーバーを使用しない]チェックボックスを選択していない場合は、ローカルのSMH (<https://localhost:2381>) に接続しようとする「ページが見つかりません」というエラー メッセージが表示されます。
- 対策** 以下の手順に従って、ローカル アドレスに対してプロキシ サーバを使用するようにInternet Explorerを設定します。
1. Internet Explorerで、[ツール]、[インターネット オプション]の順にクリックします。
  2. [接続]タブをクリックします。
  3. [LANの設定]ボタンをクリックします。
  4. [プロキシ サーバー]から、[ローカル アドレスにはプロキシ サーバーを使用しない]チェックボックスを選択します。

また、SMHのショートカット(デスクトップ上のアイコン)を変更する方法(「<https://localhost:2381>」に代えて「<https://127.0.0.1:2381>」をリンク先にする)もあります。

すべての  
Integrityサーバ

システム マネジメント ホームページがエラーをWindowsアプリケーション イベント ログに記録する

- 問題** SMHのインストールとアンインストールや、SMHサービスの停止と開始を何回も頻繁に繰り返した場合は、次のようなエラーがWindowsアプリケーション イベント ログに記録されることがあります。
- Faulting application smhstart.exe, version 2.0.0.103,  
faulting module unknown, version 0.0.0.0, fault address  
0x00000000.
- 対策** このメッセージは、SMHの動作に影響を与えません。アプリケーションは、継続して正常に動作します。万が一プログラムが終了するような場合は、SMHをアンインストールし、C:\¥hp¥hpsmhディレクトリを削除して、SMHをインストールしなおしてください。

**Superdome,  
rx8620, rx7620**

**Support Packが、Partition Managerと互換性のないバージョンのSMHをインストールする**

**問題**

Smart Setup 3.30 Support Packには、ACUなどのWebアプリケーションを提供するSMHバージョン2.0.0.104が含まれています。ただし、Partition Managerには、JSP/Servletコンテナへのコネクタを持つSMHバージョン2.0.1.8が必要です。Partition Managerが現在動作しているシステムにSupport Packをインストールすると、コネクタを持つSMH実行ファイルが上書きされ、JSP/Servlet コンテナへのリンクが断たれます。このため、SMHからPartition Managerにアクセスできなくなります。

**対策**

IntegrityサーバでPartition Managerを使用するには、Support Packをインストールした後にPartition Manager (64ビット) バンドルをインストールする必要があります。Partition Managerがすでに動作しているIntegrityサーバにSupport Packをインストールする場合は、必ず、Partition Manager (64ビット) バンドルに含まれているJSP/Servletコンテナを再インストールしてください。

**バージョン コントロール**

**すべての  
Integrityサーバ**

**システム マネジメント ホームページ (SMH) の再インストール後にバージョン コントロール レポジトリ マネージャ (VCRM) が起動しない**

**問題**

SMHをアンインストールし、システムを再起動して、SMHを再インストールした場合、VCRMは起動できません。この問題は、SMHのアンインストールと再インストールの間にシステムを再起動した場合にのみ発生します。

**対策**

SMHを再インストールしてからVCRMを再インストールしてください。

**すべての  
Integrityサーバ**

**バージョン コントロール レポジトリ マネージャ (VCRM) が日本語版のOSから日本語版のSupport Packをアップロードしない**

**問題**

日本語版OS上でVCRMを使用する場合、VCRMは、日本語版のSupport Packではなく英語版のSupport Packをアップロードします。

**対策**

日本語版のOSでSupport Packをアップロードする前に、ブラウザの言語設定を「英語[en]」または「英語[en-us]」に変更し、日本語版のSupport Packをアップロードして、ブラウザの言語設定を「日本語[ja]」に戻してください。

---

## Windows Server 2003の再インストール

オペレーティング システムがプリインストールされたサーバには、必要な場合にデフォルト設定に戻すことができるHP再インストール用メディアが付属しています。以下の各項で、HP再インストール用メディアを使用して、HP IntegrityサーバにWindows Server 2003をインストールする手順について説明します。

### ローカル コンソールから

ローカル コンソールからMicrosoft Windows Server 2003を再インストールするには、再インストール用メディアからディスクにオペレーティング システムのイメージをコピーし、システムをセットアップします。以下の各項で、システム管理者向けに、サーバを迅速に稼働させる手順について説明します。手順について詳しくは、『Smart Setupガイド』を参照してください。

### オペレーティング システムをロードする

ローカル コンソールからサーバにWindows Server 2003を再インストールするには、以下の手順に従ってください。

- 手順1.** ブート コントローラを除くすべてのコントローラから、すべての大容量記憶装置との接続を切断します。インストールの完了後に再接続できるように、他のデバイスの接続を書き留めます。

---

### 警告

OSは、adapter 0 drive 0として検出されたブート コントローラにインストールされます。他のすべてのドライブの接続を切断しないと、意図しないドライブにOSがインストールされる場合があります。

- 手順2.** ブート コントローラとドライブを構成します。RAIDコントローラを使用している場合は、RAIDコントローラのマニュアルの説明に従って、コントローラを準備し、RAIDタイプを選択してください。

- 手順3.** Windows Server 2003 SP1では、すでにブート エントリが存在する場合、ブート エントリを作成できないので、既存のブート エントリを削除する必要があります。ブート エントリを削除するには、以下の手順に従ってください。

1. **[EFI Boot Manager]**、**[Boot option maintenance menu]**、**[Delete Boot Option(s)]**の順に選択します。
2. 削除するWindows Server 2003ブート エントリを選択し、**Enter**キーを押します。

- 手順4.** DVDドライブに、HP再インストール用メディアを挿入します。

- 手順5.** EFI Boot Managerの**[Boot Menu]**から、**[Internal Bootable DVD]**を選択し（存在する場合）、**Enter**キーを押します。

このエントリが存在しない場合は、以下の手順に従ってください。

1. **[EFI Shell]**を選択します。
2. EFIシェルで、DVDファイル システムを選択します。  
たとえば、DVDファイル システムがfs1の場合は、**fs1** : とタイプします。
3. **setupldr**とタイプして、ブート ロードを起動します。

- 手順6.** **[Recovery Console]**で、**[Re-Install]**をクリックします。

- 手順7.** 再インストールの確認を求めるメッセージが表示されたら、**[OK]**をクリックします。

- 手順8.** パーティション サイズを選択し、**[OK]**をクリックして続行します。

---

**注** インストールプロセスによって、ファイルがハードディスクにコピーされます。長時間にわたって[99% complete]が表示される場合があります。サーバの電源を切らないでください。

---

**手順9.** ダイアログ ボックスが表示されたら、**[OK]**をクリックして続行します。

**手順10.** **[Exit]**をクリックします。サーバが、Windows Server 2003オペレーティング システムからリブートします。

**手順11.** リモート アクセスを有効にします。

**a.** システムの背面にあるローカル接続から、MPポートのIPアドレスを設定します。端末エミュレータまでのヌル モデム シリアル ケーブル接続を使用します。デフォルト設定は、9600、8、なし、1、xoff/xonです。

**b.** IPMI LAN ACCESSが有効になっていることを確認します。

**手順12.** 性能を最大化するために、Par CommandsウィザードまたはParコマンドを使用して、メモリを最大セルローカル メモリ (CLM) モードに設定することをおすすめします。手順について詳しくは、『nPartition ガイド』を参照してください。

すでにパーティションが作成されている場合は、Parstatusを使用してメモリの設定状況をチェックできます。たとえば、次のコマンドをタイプします。

```
Parstatus -p2 -V -g passwd -h myserver
```

### システム設定を指定する

ローカル コンソールから初めてブートした後で、Windows Server 2003をセットアップするには、以下の手順に従ってください。

**手順1.** ACPIが[Windows]に設定されていることを確認します。

1. EFIシェルで、ACPICONFIGとタイプします。  
ACPIが正しく設定されている場合は、次のように表示されます。  
acpiconfig settings: windows
2. ACPIが正しく設定されていない場合は、次のコマンドをタイプします。  
ACPICONFIG WINDOWS
3. サーバをリセットします。

**手順2.** サーバの電源を入れます。EMSチャネル（ヘッドレス サーバMPポート）が存在することを示すポップアップ画面が表示されます。このモードでは、マウスとキーボードが動作するまでに2～15分かかります。

**手順3.** ローカル コンソールで、セットアップ情報の入力を指示するメッセージが表示されたら、**[OK]**をクリックします。

**手順4.** Windows Setupウィザードから、以下のセットアップ情報を入力します。

1. [マイクロソフト ソフトウェア使用許諾書]で、**[同意します]**をクリックし、**[次へ]**をクリックします。
2. [地域と言語のオプション]ウィンドウで、**[次へ]**をクリックします。
3. [プロダクト キー]ウィンドウに、プロダクト キーを入力し、**[次へ]**をクリックします。  
プロダクト キーは、サーバに添付されたラベルに記載されています。
4. [ライセンス モード]ウィンドウで、購入したライセンスを選択し、**[次へ]**をクリックします。
5. [コンピュータ名とAdministratorのパスワード]ウィンドウに、サーバ名とパスワードを入力し、**[次へ]**をクリックします。
6. [日付と時刻の設定]ウィンドウで、適切な時間帯を選択し、**[次へ]**をクリックします。

サーバがEFI Boot Managerからリブートし、Windows Server 2003を起動します。設定したAdministratorのパスワードを使用して、サーバにログインできます。

## リモート コンソールから

リモート コンソールからMicrosoft Windows Server 2003を再インストールするには、再インストール用メディアからディスクにオペレーティング システムのイメージをコピーし、システムをセットアップします。以下の各項で、システム管理者向けに、サーバを迅速に稼働させる手順について説明します。手順について詳しくは、『Smart Setupガイド』を参照してください。

## オペレーティング システムをロードする

リモート コンソールからサーバにWindows Server 2003を再インストールするには、以下の手順に従ってください。

**手順1.** 端末エミュレータを使用して、対象システム パーティションに接続します。

---

### 注

Windows XPでは、**[アクセサリ]**、**[通信]**の順に選択すると、Terminal Servicesクライアントを使用できます。Windows 2000では、Terminal Servicesクライアントをインストールしないと使用できません。

**手順2.** Windows Server 2003 SP1では、すでにブート エントリが存在する場合、ブート エントリを作成できないので、既存のブート エントリを削除する必要があります。ブート エントリを削除するには、以下の手順に従ってください。

1. **[EFI Boot Manager]**、**[Boot option maintenance menu]**、**[Delete Boot Option(s)]**の順に選択します。
2. 削除するWindows Server 2003ブート エントリを選択し、**Enter**キーを押します。

**手順3.** EFI Boot Managerの[Boot Menu]から、**[Internal Bootable DVD]**を選択し（存在する場合）、**Enter**キーを押します。

このエントリが存在しない場合は、以下の手順に従ってください。

1. **[EFI Shell]**を選択します。
2. EFIシェルで、DVDファイル システムを選択します。  
たとえば、DVDファイル システムがfs1の場合は、**fs1 :** とタイプします。
3. **setupldr**とタイプして、ブート ローダを起動します。

**手順4.** SAC>プロンプトで、**cmd**とタイプします。

**手順5.** **Esc+Tab**キーを押して、新しいコマンドプロンプト チャネルに切り替えます。

**手順6.** **txtstore**とタイプして、インストール メニューを起動します。

**手順7.** パーティション サイズ（推奨サイズは33GB）を選択し、**[OK]**をクリックして続行します。

---

### 注

インストールプロセスによって、ファイルがハードディスクにコピーされます。長時間にわたって[99% complete]が表示される場合があります。サーバの電源を切らないでください。

**手順8.** インストールプロセスが完了すると、メイン コンソールまたはVGAディスプレイにEMSが検出されたことを示す画面が表示されます。ローカル コンソールの使用を指示するメッセージが表示されたら、**[OK]**をクリックしないでください。



手順9. リモート コンソールに戻り、次の項の指示に従って、システムをセットアップしてください。

#### システム設定を指定する

リモート コンソールから初めてブートした後で、Windows Server 2003をセットアップするには、以下の手順に従ってください。

手順1. SAC>プロンプトで、**Esc+Tab**キーを押して、チャンネル1に切り替えます。次の画面が表示されます。

```
*****
Name:                               Unattended Setup Channel
Description:                         Provide parameters to automate Setup
Type:                               VT-UTF8
Channel GUID:                       0cfc0ee2-3a27-11d7-8484-806e6f6e6963
Application Type GUID: 00000000-0000-0000-0000-000000000000
Press <esc><tab> for next channel.
Press <esc><tab>0 to return to the SAC channel.
Use any other key to view this channel.
*****
```

手順2. 任意のキーを押し、**Page Down**キーを押します。

手順3. **F8**キーを押して、マイクロソフト ソフトウェア使用許諾書を受け入れます。Windowsのデフォルト端末エミュレータでは、**F8**キーは**<Esc>8**です。**Esc**キーを押してから2秒以内に**8**を押します。**Esc**キーを押してから2秒以内に**8**を押さないと、**Esc**キーだけが認識され、システムがリブートします。

手順4. プロダクト キーを入力します。プロダクト キーは、サーバに添付されたラベルに記載されています。

手順5. Administratorのパスワードを入力し、確認のために再入力します。

Mini-setupプロセスが自動的に継続し、完了すると、システムがリブートします。SAC>プロンプトが再表示されるのを待ちます。

手順6. **i** と入力して、サーバのIPアドレスを表示します。

手順7. 端末サーバクライアントを開き、サーバのIPアドレスに接続します。必要に応じて、コンピュータ名とIPアドレスを変更します。

手順8. デスクトップで、[OnlineReference]ページを開き、一番下までスクロールします。  
Note.3の[IF you installed via the remote console and you need change your user and company name;Click Here to change.]の[Click Here]の部分をクリックします。するとusercompanyname.cmdが起動します。

手順9. メッセージが表示されたら、会社名とユーザ名を入力し、**[OK]**をクリックして、セットアップを完了します。

## 技術資料

Windows Server 2003が動作するHP Integrityサーバに関する技術資料には以下のマニュアルがあります（英語および日本語）。これらのマニュアルは、HP Smart Setupメディアに収録されています。また、HP IntegrityサポートのWebサイト<http://www.hp.com/support/itaniumservers/>（英語）からも入手できます。

### 『Smart Setupガイド』

HP IntegrityサーバにWindows Server 2003をインストール、再インストール、移行する手順について説明しています。

### 『nPartitionガイド』

Windows Server 2003が動作するセルベースのHP IntegrityサーバにnPartitionを作成、設定、管理する手順について説明しています。

### 『Kernel Debug Guide』

Windowsオペレーティング システムのカーネル デバッグ環境をセットアップし、実行する手順について説明しています。また、OSのトラブルシューティングに関するヒントについても説明しています。

### 『Support Packおよび展開ユーティリティ ユーザ ガイド』

Windows Server 2003 64ビット サーバ環境で、展開ユーティリティを使用し、日常的なソフトウェア メンテナンス作業を実行するツールをセットアップする手順について説明しています。

### 『Management Events Reference』

HPマネジメント エージェントforサーバfor Windowsによって生成されるSNMPトラップに関連したMicrosoft Windows Server 2003とMicrosoft Windows Server 2000のイベント ログ メッセージを掲載しています。

### 『Management Agents Guide』

Windows Server 2003が動作するHP IntegrityサーバにHP Insightマネジメント エージェントをインストール、設定、使用する手順について説明しています。

### 『Pay Per Use User Guide』

Windows Server 2003が動作するHP IntegrityサーバにHP Pay Per Use (PPU) ソフトウェアをインストール、設定、使用する手順について説明しています。

---

## テクニカル サポート

最新のファームウェア、ドライバ、ユーティリティでサーバを最新状態に維持するには、定期的にHPテクニカル サポートのWebサイトを参照してください。

### Windows固有のファームウェア、ドライバ、ユーティリティを入手する

Windows Server 2003に適用されるSuperdomeのファームウェア、ドライバ、ユーティリティを入手するには、以下の手順に従ってください。

- 手順1. HPのWebサイト<http://www.hp.com/>（英語）にアクセスします。
- 手順2. **[Driver Downloads]**をクリックします。
- 手順3. **[Software & Driver Downloads]**ページで、**[Download drivers and software]**を選択し、**[for product]**フィールドにSuperdomeとタイプします。
- 手順4. 表示される製品リストから、**[HP Integrity Superdome]**を選択します。
- 手順5. **[specify operating system - HP Integrity Superdome server]**ページで、**[Microsoft Windows Server 2003 64-bit]**を選択します。
- 手順6. **[download drivers and software for HP Integrity Superdome server- Microsoft Windows Server 2003 64-Bit]**のWebページで、必要に応じてファームウェアとドライバをダウンロードします。

---

#### 注

HP Integrity Superdomeサーバのシステム ファームウェアの更新は、HPのCEだけが許可されています。ファームウェアをアップデートする際は、HPのサービス窓口にお問い合わせください。

### HPサポート通知の登録

ご使用のサーバ固有のドライバ、パッチ、およびその他のコンポーネントに関する更新情報を入手するために、アラートおよび通知の登録をおすすめします。HPのWebサイト<http://www.hp.com/united-states/subscribe/gateway/>（英語）にアクセスしてください。

